

惑星科学研究センター

惑星科学の国際教育研究拠点となる**新しいタイプのセンター**

人材が集い知見が集積される**場**を構築提供

人材育成活動や研究活動の**触媒**

研究者の**分散**を尊重、教育・研究の多様性を確保



コーディネーションセンター

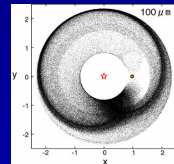
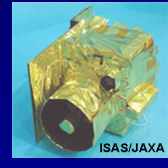
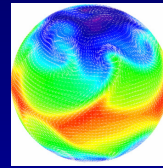
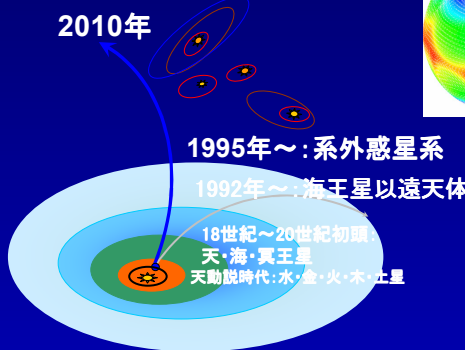
新しいタイプのセンターの必要性

惑星科学とは:

天文学・宇宙物理学から
地球科学にまたがる大きな
広がりを持つ学問分野

惑星科学発展のジレンマ:

<高度専門化>と
<全体像の把握>の両立



多種多様な手法

拡大する対象・深化する理解

コーディネーションセンターとしての惑星科学研究センター

社会交流CG

企業との研究連携の促進や博士修了者レベルの就職活動を支援する。

- A) まったく新しい研究課題を提案し、自立して研究環境を構築しこれを実行できる能力
- B) 広い専門的視野を持ち、研究を指導的に推進できる能力
- C) 惑星科学の先端技術と知見を惑星科学以外の分野や社会に役立てる能力
- D) 国際的視野と国際的な情報発信力

新しいタイプのセンター

惑星科学コミュニティ
全体へのサービス

教育研究活動を発掘、支援、調整

交流の促進による**<場>**づくり

- 高度な知見の交換と集積提供
- 触媒作用による人材育成と研究活性化
- <場>の構築(CGの活動)への参加による人材育成

惑星科学研究センター

コーディネーション機能



基盤CG

共通利用可能なソフトウェアの開発など、教育研究活動に必要とされる基盤的な資源の開発整備する。あるいは開発整備活動の調整支援を行い、インターネットサーバの運営と知見情報の集積、アーカイブなどに従事する。



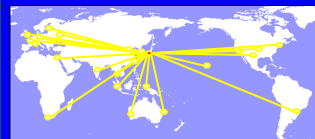
講演と講演資料の電子化風景 セミナー・講義の
(フロンティアセミナー2009夏) ビデオ配信

将来構想CG

若手研究者とともに惑星科学の展開を構想し、必要な提言を行う。

国際連携CG

海外の教育研究機関との人材交流や海外への情報発信を支援する。



国際的な惑星科学教育研究ネットワークを構築
台湾国立中央大学、イェナ大学(独)、ウツホル海洋科学研究所(米)、国際宇宙科学研究所(スイス)、I. ニュートン数理論理学研究所(英)、ミュンスター大学(独)、コートダジュール天文台(仏) etc.との提携

教育研究CG

教育プログラムの設計提供や研究集会の開催支援を行い、共同研究の企画調整などに従事する。

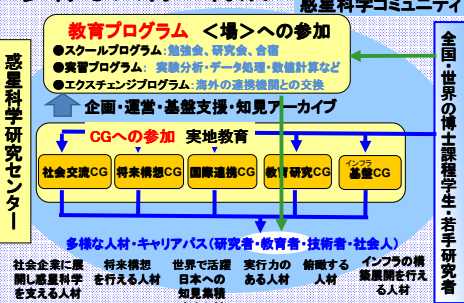


プラネタリクスクール
2009(神戸大学・GCOE)



フロンティアセミナー
2009夏(北海道大学・大学院教育イニシアティブ)

惑星科学の展開を担える 多様な人材の育成



汎惑星系モデル構築への貢献

